『林業経済』編集委員会（50 音順）
山本　伸幸（編集委員長）　興梠　克久（副委員長）　原　研二（副委員長）
石崎　涼子　小川三四郎　佐藤　孝吉　柴崎　茂光　関岡　東生　関　良基
竹本　太郎　立花　敏　寺内　大左　中村　誠　早瀬　悟史　古井戸宏通
三木　敦朗　山本　美穂
事務局
土屋　俊幸（所長）　大西　純（事務員）

お詫びと訂正

2024 年 4 月号（No.906）の「私の研究史〈井口　隆史〉」の注 3）に誤りがありました。「京都短期大学教授・学長」は、「京都文化短期大学教授・学長」でした。お詫びして訂正いたします。

≪編集後記≫

【ふらふら所長の周辺探検　第 8 回】JR または地下鉄御茶ノ水駅から研究所に向かう方は、はるか下方に満々と水を湛えた水路があることに気づかれているかもしれない。私は学生時代からこの界隈をうろうろしていたので、水面の存在は認識していたのだが、江戸城の外縁部のお濠だと信じ込んでいた。先日、たまたま研究所近くの本屋に行ったら、渡邉　晃『浮世絵でたどる！　江戸の凸凹地形散歩』（山川出版社、2023 年）という本が目につき、思わず購入してしまった。この本は題名のとおり、江戸時代の浮世絵のうち風景画を景観資料として使って、当時の地形や地形に関わる人々の暮らしを浮き彫りにしようというものなのだが、その「はじめに」によれば、「1590 年に家康が江戸に入った直後から始まった江戸の発展は、河川の付け替えや埋め立てを中心とした大規模な地形の改変と軌を一にするものだった。……江戸時代に行われた地形の改変の例は、枚挙に暇がない」（P9-10）とあり、その大規模な地形改変の例の一つとして「神田山を掘削した仙台濠の造成」が挙げられている。本の表紙も仙台濠である。そして、この仙台濠が冒頭の「お濠」なのである。

仙台濠は、2 代将軍秀忠に命じられた仙台藩主伊達正宗が起工し、40 年後の 4 代藩主の時代に完成したのでこの名があるが、井の頭池を源流とするれっきとした一級河川である。神田山と呼ばれていた武蔵野台地の東端の一つ・本郷台を、真っ二つに深く掘削したので、浮世絵には掘削跡が生々しい当時の様子が描かれている。この大土木工事により、平川など 3 川をまとめて接続し、隅田川に放流することになった。江戸時代は神田上水と呼ばれていた部分もあるが、現在はすべて「神田川」となっている。〈続く〉　（土屋）

研究所業務日誌（2024 年 4 月）
4 月 9 日　第 1 回編集委員会
4 月 16 ～ 17 日　森林所有者による「森林サービス産業」推進事業　先進地視察＆意見交換会
4 月 19 日　『林業経済』4 月号校了

林業経済（月刊）
〈禁無断転載〉
定価　880 円
（本体価格 800 円）

編集発行人　永田　信

発行所　一般財団法人　林業経済研究所
〒 113-0034　東京都文京区湯島 1-12-6 高関ビル 3A
電　話　03-6379-5015　FAX　03-6379-3210
E-mail : office@foeri.org　URL : http://www.foeri.org/
☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。
1 年　10,560 円（送料共）（本体　9,600 円、消費税　960 円）
学生および院生は 1 年 5,500 円（本体　5,000 円、消費税　500 円）になります。
購読料の振込先
口座名義人：一般財団法人　林業経済研究所
銀行の場合：三菱 UFJ 銀行　秋葉原支店
普通預金口座　4560904
郵便局の場合：振替口座　00110-1-147629

印刷　株式会社ソウブン・ドットコム　東京都荒川区西尾久 7-12-16